



平成27年 9月18日

各 位

ウェルス・マネジメント株式会社
代表者 代表取締役社長 千野 和 俊
(コード番号:3772 東証マザーズ)
問合せ先 総務部 グループ長 木村 健太郎
(電 話 番 号 03-6229-2140)

ホテルファンドにおける資本構成の見直しとそれに伴う匿名組合出資持分の一部払い戻し、 及び当社の親会社借入金の返済に関するお知らせ

当社連結子会社であるリシエス・マネジメント株式会社（以下、「RIC社」といいます。）が管理する大阪市内のホテル「ホテルメトロTHE21」を受託資産とするビジネスホテルファンド（以下、「本ファンド」といいます。）において、資本構成の見直しとそれに伴う匿名組合出資持分の一部払い戻しを決定いたしました。また、当社は回収する資金の一部で、親会社借入金の全額を返済することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。（本ファンドへの出資及び親会社借入金の概要につきましては、平成26年2月14日公表の「当社連結子会社におけるビジネスホテルファンド組成と共同出資、及びこれに係る資金の借入の実施等に関するお知らせ」をご参照ください。）

記

1. ホテルファンドにおける資本構成の見直しと匿名組合出資の払い戻しについて

(1) 概要

現在、当社グループは、本ファンドに対し、①RIC社を通じ優先匿名組合出資を行うとともに、②当社が39%を保有する持分法適用会社のWEALTH PARTNERS SINGAPORE PTE. LTD.（以下、「WPS社」といいます。）を通じ劣後匿名組合出資を行っております。

この度、本ファンドは足元の好業績の中、より低利での資金調達と劣後匿名組合出資の投資効率の向上を目的に、金融機関からの追加借り入れと、RIC社への優先匿名組合出資の払い戻し並びにWPS社への劣後匿名組合出資の一部払い戻しを行うことを決定いたしました。

なお、当社は、今後も本ファンドに対して、WPS社を通じた劣後匿名組合出資と、RIC社を通じたアセットマネジメントサービスを継続して実施してまいります。

また、本ファンドの受託資産であるホテルメトロ THE 21 について、アコーホテルズグループのバジェット型ホテルブランドである「イビスタイルズ」へのリブランドを計画しており、リブランド後の運営につきましては、本年9月1日設立の当社子会社である株式会社ホテルWマネジメント大阪ミナミが実施する予定であります。（当該ホテル運営に関する詳細につきましては、8月21日公表の「ホテル運営事業への進出及びアコーホテルズグループとの業務委託契約の締結に関するお知らせ（開示事項の経過）」及び8月27日公表の「子会社設立に関するお知らせ」をご参照ください。）

2. 親会社への借入金返済について

(1) 概要

本ファンドの資本構成の見直しの結果として、当社は本ファンドからグループとして1,100百万円の資金回収をする（うち135百万円はWPS社の外部株主へ）こととなり、この資金を、親会社であるキャピタル・エンジン株式会社（以下、「CE社」といいます。）からの借入金880百万円の返済資金、及びホテル運営事業の事業資金に充当いたします。

なお、CE社への借入金の返済は、本ファンドからの匿名組合出資の払い戻しが、当社とCE社との間で締結した当初からの金銭消費貸借契約における期限前返済事由に該当するために行われるものです。

(2) 返済する借入金の内容

借入先	借入実行日	返済期限	返済前借入残高	返済金額	返済後借入残高
キャピタル・エンジン株式会社	平成26年3月26日	平成28年3月28日	880百万円	880百万円	—

(3) 返済日

平成27年9月18日

3. 今後の見通し

本件は、当社グループを通じて出資する劣後匿名組合出資の投資効率を高めることとなりますが、当期の連結業績に与える影響は軽微であります。

ただし、当社の財務の健全化につながり、今後の資金調達が多様性が生まれ、更なる収益機会の追及と中長期的な事業拡大に寄与するものと考えます。

以上

(参考) 当期連結業績予想（平成27年8月27日公表分）及び前期連結実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成28年3月期通期)	1,747	256	236	175
前期連結実績 (平成27年3月期通期)	1,194	△51	△22	15

(注) 上記の内、当期連結業績予想は平成27年8月27日現在において入手可能な情報に基づき作成し公表したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。